

プロジェクト代表者	中野隆史(微生物学・教授)
共同研究課題名	電気分解の医療応用に関する研究
目的	電気分解の医療応用に関する研究として、昨年度まで電気分解を応用した新規消毒法の開発および評価に関する研究を主たる目的として成果を発表してきた。本年度は同法のさらなる臨床適応を目指し、国外規制に対応した消毒効果確認試験について検討し海外での臨床応用を図るとともに、消化器内視鏡以外の医療機器への適応拡大、また新興感染症原因微生物に対する消毒効果の検証を目的とする。
内容	食塩水電気分解産物（以下同産物）は抗微生物スペクトルが広いことが証明されつつあり、その一方、環境中で容易に不活化され、ヒト細胞に対する毒性も低いため、臨床現場への使用が期待されている。 今年度は、同法の海外への普及、とくに米国 FDA 認証へ向けた試験法を検討することを目的とするとともに、耳鼻科領域にて検出される微生物や新型コロナウイルスに対する消毒効果など、臨床現場での適応拡大に際するエビデンスの蓄積を図る。
学内共同研究者	高田由紀子(微生物学・研究補助員)
学外共同研究者	林 秀樹(カイゲンファーマ(株)商品企画部機器研究グループ)
	十河元喜(カイゲンファーマ(株)商品企画部機器研究グループ)
研究費	2,000,000 円